

2 - 2 数値目標

これまで以上に、お客様へのサービス向上と業務の効率化を図るため、民営化当初の6ヶ月間の下半期について、数値目標を作成しました。

2005年度下半期経営計画の主な数値目標

	指 標	2004 年度実績値	2005 年度下半期目標値	
お客様第一	総合顧客満足度 (不満のあるお客様の割合)	2.8 (38.6%)	3.0 (33.0%以下)	
	安全	死傷事故率	30.3件/億台 Km	30.3件/億台 Km 以下
		道路構造物保全率(舗装)^(注1)	99%	99%
	円滑	平均走行速度 (全線・平日・昼間) (東京線・平日・昼間)	4.4 km/h 4.2 km/h	4.6 km/h 4.4 km/h
		渋滞損失時間(東京線) (年間総損失時間) (平日平均)	2,970万台・時/年 91,500台・時/日	2,300万台・時/年以下 72,000台・時/日以下
		工事渋滞量(首都高速道路全線・19時~翌6時)	15.6 km・h/日	12.0 km・h/日以下
		路上工事時間	339時間/km	180時間/km以下
		ETC利用率	39%	85%
	快適	本線料金所における ETC 専用レーン率	36%	66%
		ホームページアクセス件数	39,559件/日	56,000件/日
地域社会との共生	騒音に係る夜間要請限度達成率 (高速単独区間)	91%	94%	
	騒音に係る夜間要請限度達成率 (街路併設区間)	69%	70%	
自立する経営	高速道路料金収入	2,620億円	1,268億円 ^(注2)	
	関連事業売上 ()内は会社単体で内書き	33.6億円 (16.6億円)	16.9億円 (7.8億円)	
	関連事業税引き前当期損益 ()内は会社単体で内書き	3.6億円 (3.6億円)	2.5億円 (1.3億円)	

(注1) 橋脚補強完了率は100%達成済み

(注2) 暫定協定上の予定料金収入額。これにより日本高速道路保有・債務返済機構に対する貸付料(872億円)を支払う。なお、料金収入には料金割引に係る社会実験に伴い社会実験協議会から受け入れる交通転換促進費を含む。